

特例認定 NPO 法人アカツキ
立ち止まり対話するための助成金＋コンサルティング
「AKBN（アケボノ）ファンド」募集要項

■助成金プログラムの趣旨

『長期的な成果のために立ち止まる』

一般的な NPO 向けの助成金や補助金は、新規事業開発や事業推進のための資金であることが多く、中には職員の人件費に使えないものもあります。そのため申請・取得のタイミングや量を間違えてしまうと、イベント実施や報告書作成といった目の前の仕事に追われ、準備や振り返りのような、組織にとって土台となる大切なこと・大切なひとに目を向けることができないまま、時間が過ぎてしまうことも少なくありません。

そこで本助成金プログラムは組織基盤整備の根本として、すぐ側にいる理事・職員・支援者と対話するために、立ち止まり、足元を確認することを目的に設立されました。「短期的な成果や収入に結びつかないが長期的に見て重要な取り組み」に必要な、管理部門の人件費やその他の費用を助成し、アカツキの伴走型コンサルティングと併せ、支援を行う制度です。

『多様なコミュニティを自団体から実現する』

具体的な使途・取り組みとしては、以下が挙げられます。

- ・団体が目指す目的をはっきりした言葉にする
- ・信頼できるメンバーを見つける
- ・内部コミュニケーションの風通しを良くする

但し、いずれにおいても「外部に PR できる綺麗な資料」を作ることが目的ではありません。カリスマでなくても、優秀でなくても、ごく普通の市民同士が語り合い、ぶつかり合い、違いを認め合う。対話を通じた、多様な価値観と多元的な関係性が同時に成り立つコミュニティにこそ、市民社会の可能性があると考えるからです。

『参加と協力の仕組みを育てる』

寄付やボランティアという形での参画には、それを受け止めて活かす力。つまり、上手な募集方法に加え、それぞれが持ち寄ったお金や時間に合わせた準備・フォロー・報告やお礼など、工夫や努力がNPO側に求められます。

アカツキの考えるNPO法の理念は、単に社会課題解決のための事業の推進ではなく、社会課題の解決や新しい理想のまちづくりの“プロセス”に、より多くの人々が当事者として参加・協力していけるようになることです。それにより人々が互いに勇気付けられ合い、自分の可能性を知り、ゆるやかなつながりと居場所を見い出していけると信じています。

「持ち寄って働く、寄り合って暮らす。それぞれの『私たち』に拓かれた社会へ」このアカツキのビジョンに共感し、今、立ち止まる勇気を持ちたい皆さんからの応募をお待ちしています。

■助成期間

・2018年4月1日から2019年3月31日の1年間のうち、団体が希望する3ヶ月間程度

■助成金額／件数

・現金30万円以内+30万円相当のアカツキによる伴走型コンサルティング（2～3時間×3～6回程度）／1件

■対象となる組織（※）

- ・福岡県内に主たる事務所をおくNPO法人
- ・2名以上の有給職員がいること
- ・年間の事業収入が200～800万円程度
- ・自己財源（次年度も確実に継続が見込める収入）比率30%以上

（※）本プログラムの効果が出やすい推奨としての目安であり、申請の必須条件ではありません。判断に迷う場合はお問い合わせください。

■対象となる取り組み（例）

- ・メンバー間の相互理解を促進する取り組み
- ・組織の目指すビジョン／ミッションを明文化する取り組み
- ・求める人材像を能力／資質の両面から明確化する取り組み
- ・中期経営計画や財源戦略を策定する取り組み
- ・事業間の連動性や成果の目標値を可視化する取り組み
- ・ロジックモデルと KPI を策定する取り組み

*その他の内部コミュニケーションに関する取り組みも対象となります。

*助成決定後にヒアリングを行い、アカツキと一緒に再調整・決定します。

■対象となる費用

- ・取り組みに必要な人件費（管理部門にかかるものに限る）、
ミーティング会場費、文具等消耗品費、飲食費、交通・宿泊費 など

*なお、個別事業推進のためと考えられる費用については、人件費・その他の費用共に対象外です。

■選考基準

- ・応募書の記載内容が具体的で実施に妥当性があるか
- ・事前に団体内部で取り組みの合意を行なっているかどうか
- ・取り組みに割く時間を確保しているか
- ・事業の財源に持続性（自主財源向上）を意識しているか
- ・団体が受益者と支援者に対して対等な関係性を築いているか
- ・団体の事業内容がビジネスに偏りすぎていないか
- ・NPO 法人として所轄庁への事業報告書等の提出を行っているか

■選考方法

- 1) 応募書による書類審査（必要に応じてお電話で追加確認）
- 2) Web 上に公開されている Web サイトや事業報告・決算書等の閲覧
- 3) 審査委員によるヒアリング（3月10日（土）午後を予定）

*応募多数の場合は、1) 2) をもって一次審査とさせて頂く可能性がございます。あらかじめご承知おきください。

■終了後の報告

- ・ A4 一枚程度の報告書類をご提出いただきます。
 - ・ 領収書等の提出は必要ありません。
 - ・ 審査委員とアカツキ理事・職員・会員（全体で 150 名程度）対象に、報告会での発表をお願いする予定です（時期・日程は団体と調整）。
- *助成期間中においても、取り組みの内容を Web や SNS に公開させて頂くことがございます。内容は可能な範囲で結構です。

■財源について

本ファンドの資金は、アカツキ正会員・サポーター会員から頂戴しました会費を活用させて頂いております。

また、助成金プログラム開発費については、こちらの寄付キャンペーンにご参加くださった皆さまからのご寄付を充当させていただきます。

→ <http://aka-tsuki.org/info/event/4714/>

この場を借りて、深く感謝申し上げます。

■応募締め切り

2018 年 2 月 28 日（水） 23:59

*選考結果は、3 月下旬頃に応募団体への個別メールでお知らせします。また採択団体については、アカツキ web サイトでも発表いたします。

■書類提出／お問い合わせ窓口

info@aka-tsuki.org（担当：永田・雪松）